

## 梅は百花の魁

「梅は百花の魁(きぎけ)」というように、すべての花にさきがけて開く梅は、中国原産の花木です。「ウメ」という発音も、中国語 mei をそのまま写したもので、古くは「ムメ」と言っていました。梅の花は白梅が紅梅より少し早く咲きます。白梅と紅梅の両方があれば「二もとの梅に遅速を愛すかな」(与謝蕪村)という味わい方ができます。満開まで半月以上かかる梅の開花ぶりは、春の到来を日ごとに告げてくれるので、梅によって春の訪れを知ることが「梅ごよみ」といいます。俳句「梅一輪一輪づつの暖かさ」は梅の花が一輪づつ開くにつれて春が近づくとして解釈されています。

春が近づき、この1年間の成長を、みなさんもそれぞれ感じられてきた頃ではないでしょうか。

金商図書館では、良書を用意してあなたの成長を手助けします。

### 図書委員がすすめる

### 読んで得するテッパン本

#### 『No.6』 あさのあつこ著

理想都市『NO.6』に住む少年紫苑は、『矯正施設』から抜け出してきた謎の少年ネズミと出会い、様々な事件に巻き込まれていきます。多くの人々と出会い『NO.6』の隠された本質と意図を知っていきます。サバイバル小説でスリルがあってとてもおもしろいです。(13H 小津)

#### 『いちご水』 美嘉著

悩みを抱えていた二人が、いちご水に出会って、変わり始めます。互いの状況や不思議な縁や出逢い。本心とは真逆に事が進んでしまう日常に、もがいて苦しんでいるのがよくわかります。(16H 安田)

#### 『植物図鑑』 有川浩著

ある冬の晩に OL・河野さやかは、マンションの前で行き倒れている1人の男・樹を見つけます。「捨ててください」と自分を犬に例えた男の物言いを面白く思い、二人は一緒に暮らし始めます。野に育つ草花に託して語られる、恋愛小説です。(16H 横山)

旧図書館の中庭に、地球上最古の花木といわれている木蓮の木がありました。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮(もくれん)」をお届けします。

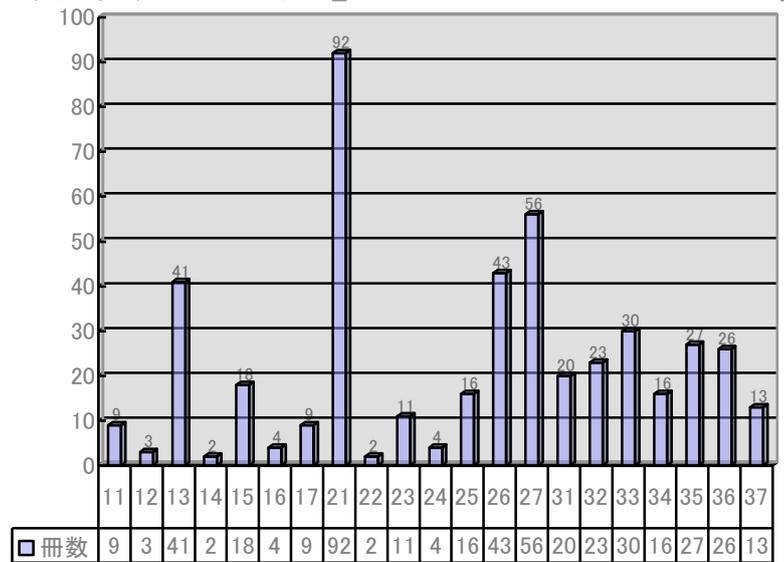
## 新着雑誌

### 『日経トレンディ』

日経トレンディ

●快適な生活のための最新の動きを、消費者視点で徹底検証します。

## 図書館利用統計【12月1日~1月31日】



今回の図書貸し出し総数は465冊でした。開館日数は33日で、1日平均にすると約14冊の貸し出しです。学年別では3年生が155冊、2年生が224冊で、1年生86冊でした。入館者の総数は2,515人で、1日平均約76人の利用でした。図書館での授業は36時間ありました。今回は貸出0のクラスがありませんでした。これは貸出数がアップするより嬉しいことです！今後も是非図書館へ足を運んで下さい！

### 報告 読書会を開催しました！

\*日時 12月17日(火) 13:30~15:30

\*テキスト『星の銀貨の3つのお話』永井 均著  
参加者は7名。「みんなの意見が聞いて良かった」「新たな発見があった」「ケーキがおいしかった」「簡単なようで深い内容のテキストだった」などの意見がでました。

